

教師・保護者と高機能広汎性発達障害をもつ生徒との会話への語用論的アプローチ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Oi, Manabu メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00063433

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



教師・保護者と高機能広汎性発達障害をもつ生徒との会話への語用論的アプローチ

Research Project

All

Project/Area Number

14380098

Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research (B)

Allocation Type

Single-year Grants

Section

一般

Research Field

教科教育

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

大井 学 金沢大, 教育学部, 教授 (70116911)

Project Period (FY)

2002 - 2005

Project Status

Completed (Fiscal Year 2005)

Budget Amount *help

¥7,200,000 (Direct Cost: ¥7,200,000)

Fiscal Year 2005: ¥1,300,000 (Direct Cost: ¥1,300,000)

Fiscal Year 2004: ¥1,400,000 (Direct Cost: ¥1,400,000)

Fiscal Year 2003: ¥1,500,000 (Direct Cost: ¥1,500,000)

Fiscal Year 2002: ¥3,000,000 (Direct Cost: ¥3,000,000)

Keywords

高機能広汎性発達障害 / 語用障害 / インターベンション / アスペルガー障害 / 高機能自閉症 / 語用論 / 会話分析 / 国際情報交換 / 連合王国 / コミュニケーション障害

Research Abstract

本年度の主要な研究実績は以下のとおりである。

- 1.14,15年度に引き続き,金沢,大阪,名古屋において高機能広汎性発達障害をもつ子ども10ケースを対象にして,保護者・教師との会話資料を収集し,不適切な言語行為,会話の原則の違反,談話管理の困難,推論伝達の失敗など,語用障害による会話の崩壊部分を抽出し,分類した.
- 2.異文化比較の視点から研究をすすめるため,台湾において同様な資料を収集した.
- 3.上記資料に基づき,語用障害のタイプと崩壊機構を特定し,その修復のために用いられた補償戦略とその効果について検討した.
- 4.これらの資料と結果は,高機能広汎性発達障害児へのインターベンション技法として意義あるものと考えられた.
- 5.また,これらの資料と結果は,大人の語用障害においても,その補償を促す可能性があることが示唆された.
- 6.以上の研究成果は,日本コミュニケーション学会(2004.5,松山)および日本特殊教育学会(2004.9,東京)で発表した.

Report (3 results)

2004 Annual Research Report

2003 Annual Research Report

2002 Annual Research Report

Research Products (5 results)

All Other
All Publications

[Publications] 大井 学: "語用障害の補償から学びへ"教育と医学. 603. 12-20 (2003) 

[Publications] 大井 学: "高機能広汎性発達障害をもつ中学生と教師との会話における崩壊と修復"コミュニケーション障害学研究. 20, 3. 161-161 (2003) 

[Publications] Manabu Oi: "Failure in Attaining Adult's Comprehension of Intentions in Japanese Children with Severe to Profound Mental Retardation"Journal of Multilingual Communication Disorders. 2.2(印刷中). (2004) 

[Publications] 大井 学・大井佳子: "子どもと話す:心が出会うINREALの会話支援"ナカニシヤ出版. 192 (2004) 

[Publications] 大井 学: "誰かお水を運んで来てくれるといいんだけどな:高機能広汎性発達障害へのコミュニケーション支援"聴能言語学研究. 19・3. 224-229 (2002) 

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-14380098/>

Published: 2002-03-31 Modified: 2016-04-21